

【エクアドル内政：2015年5月】

1. メーデーのデモ

ア 1日のメーデーにおいて、キト市を含む主要都市において、与野党の労働組合を中心とするデモが平和裡に行われた。野党系のいくつかの労働組合は、先般成立した労働公正・家庭内労働認知法、憲法改正議論、輸入追加関税措置等の政策に反対の意思を表明し、これに先住民グループ、年金受給者、教師、学生などが加わった。

イ コレア大統領、グラス副大統領及び与党系労働組合は、サント・ドミンゴ・デ・サチラ県において、政府支持のデモを行った。コレア大統領は、現政権以降、労働者の基本給が2倍以上になったこと、社会保障への加盟者が250万人に上昇したこと、身体障害者の労働の機会が増えたことなどを挙げて、労働者の権利を保護するための政策に具体的成果が出てきていることを強調した。

(2)国会2015年－2017年立法運営理事会選挙及び委員会委員長任命

ア 14日、国会において2015年から2017年の国会議長および二人の国会副議長を含む立法運営理事会（Consejo de Administracion Legislativa, CAL）の選挙が実施され、国会議長および二人の国会副議長が再選したほか、4人の役員のうち3人が決定した。また、19日には委員会の委員長が任命された。（当館注）エクアドルの国会議員の任期は4年であり、本年5月で就任以来2年を経過し、国会規則により任期の半分を経過したこの時期に国会幹部を選出し直すもの。CALは、国会の立法活動の運営計画、国会で扱う法案の優先順位決定、国会臨時委員会の発足、国会の年次予算の立案と承認を行う組織で、7人の国会議員から構成される。

イ 以下の通りCAL構成員が決定した。

- 国会議長 ガブリエラ・リバデネイラ（再選、与党Alianza Pais, AP）
- 国会第一副議長 ロサナ・アルバラド（再選、AP）
- 国会第二副議長 マルセラ・アギニャガ（再選、AP）
- 第一理事 ファウスト・カヤンベ（新規、AP、ピチンチャ県）
- 第二理事 カルロス・ベルグマン（新規、AP、マナビ県）
- 第三理事 ベロニカ・アリアス（新規、Accion Regional por la Unidad (ARE)、ロハ県）（当館注：AREはAPと協力関係にある）

第四理事については、CREO党のディエゴ・サルガドが立候補したが、十分な票を集めることができず、後日再投票が行われることとなった。（当館注：CREOはギジェルモ・ラソが率いる政党。）

ウ 野党からは、再選された国会委員長及び国会副委員長について、政府からの独立性に欠けると批判がでたものの、国会では、与党が137議席中100議席を占めており、19日の国会常設委員会及び監査・政治統制委員会の委員長任命においても、与党の意向が通る形となり、13人の委員長は全員がAP議員となった。

(3) 第2次コレア政権2周年の施政報告

ア 24日、コレア大統領（グラス副大統領及び閣僚、国会議長等同席）は、国会議事堂本会議場において、第2次政権2周年の施政報告を午前10時より約4時間にわたって行った。同報告会には、国会議員のみならず、市民団体、各政党関係者、当地外交団、国際機関代表等が招待された

イ 主な内容は以下のとおり。

- コレア大統領は約1時間15分にわたり政府の諸政策及び投資の成果、原油価格下落の状況の下での各種措置による経済成長維持、CELACの活用、汚職との闘い、今後の法整備等の施政報告を行った。
- 大統領演説後、リベラ経済政策調整大臣、バカ社会開発調整大臣、コルデロ治安調整大臣、アラウス知識・人的能力調整大臣が統計を用いつつ「市民革命」の下で実現した変革や各部門での成果を各々10分で説明し、グラス副大統領が約20分にわたり生産マトリクス強化、エネルギー・マトリクス強化の進展状況について約20分演説した。その後、ナタリー・セリ生産・雇用・競争性調整大臣、ポベダ戦略部門調整大臣が各々10分ずつそれらの部門の成果を中心とした報告を行った。
- 最後に、再びコレア大統領が演台に立ち、汚職との闘い、不平等問題を是正するための措置としての近々国会に提出する3つの法案（①土地価格評価税に関する法律案、②遺産相続に対する課税に係る法律案、③知識に関する社会経済法案）について強調した。

2. 外交

(1) CELAC外相会合

ア 5日、キト市において、第7回CELAC外相会合が33カ国の代表の出席を得て開催された。パティニーニョ・エクアドル外相は、開会式において議長国代表挨拶を行い、「ラテンアメリカ地域が世界規模での意思決定に影響力を持つためには、域内国が団結して対話を継続し、地域としての姿勢を持たねばならない。」と述べ、CELACを、ラテンアメリカ諸国の議論の場とし、米州機構を、CELAC諸国がブロックとして北米諸国と議論する場とすることを提案した。

イ 外相らは、コスタリカ及びエクアドルの大統領から2020年までのアジ

エンダに関して提案を受け議論し、地域共通課題として、貧困と格差の削減、科学技術と教育、気候変動と環境、発展のための融資、インフラとコネクティビティーの5つの分野で作業を進めることで基本的に合意したほか、中国との関係等について多面的に議論した。